

# ジェイアールバス東北本部

第8号

2023年11月13日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申3号「2023年度年末手当に関する申し入れ」第2回交渉を行う！

ジェイアールバス東北本部は2023年11月13日、申3号「2023年度年末手当に関する申し入れ」第2回交渉を行いました。各職場で集約した組合員・社員の声を訴え、人材の確保・定着には要求満額回答しかないと強く求めました。

【主な職場の声】

・上期の決算が好調なのは、退職者が多く出たことによる危機的な要員不足の中でも奮闘してきた社員の努力の結果だ。

・年末手当で2.45ヶ月に戻すことで要員の確保・定着にも繋がる。

・急激な物価上昇が止まらないなかで生活が苦しくなっている社員の生活実感を考慮してほしい。

・職場で努力している組合員・社員のことを大切に考えなければ、組合員・社員の気持ち離れるばかりで会社にとってもマイナスではないか？

・青森を中心に人流が急激に回復し、労働実感や生産性は明らかに向上している。

・要員不足のなかで奮闘している組合員・社員の労に報いる会社姿勢を示してほしい。

# 2.45ヶ月!!

・現場が疲弊しており、要員不足を解消しなければ若手を中心に更なる人材流出に繋がる恐れがある。

・現場の労働実感から多くの組合員・社員は、日頃の奮闘に報いてくれると期待している。私たちの基準である2.45ヶ月に戻すことを信じている。

・これから冬にかけて灯油代がかかる。年末手当は生活費として必要だ。

・人件費が大幅に下がっており経費削減に繋がったのは、現場社員が休日出勤で家族との時間を犠牲にしながら会社に協力してきたからだ。

・コロナ以前に比べ高速線の収入が7割ということだが、アフターコロナ社会は8割しか戻らないと言われている。もともと10割戻らないのは想定内では？

## 要求満額獲得に向けて職場の声を結集しよう！